

大坂なおみ

女王には休養と息抜きが必要だったのだ

敗戦翌日に原宿シヨツピング

3連休の最終日、人混みでゴッタ返す裏原宿（渋谷区）のシヨツピングストリートを歩く、ソバージュヘアの大柄な女性が見えた。そのバツグンの体格は、多くの人たちの中でも一際目立っている。9月9日の全米オープン決勝で優勝し、一気にスターダムにのし上がった、プロテ

ニス選手の大坂なおみ(20)だ。本誌が買い物を楽しむ彼女を自撃したのは、9月24日のことだった。この前日、「東レ・パンパシフィック・

オープンテニストーナメント」(東京・立川市)に出場し、惜しくも準優勝に終わっていた大坂。大会後には憔悴しきった様子だったが、この日は一転、ブランドシヨツプが並び通りを歩き、ウインド

ーシヨツピングを満喫していた。

「実は、彼女はかねてから東京のファッションカルチャーに興味津々。全米オープン後の会見でも、「原宿に行きたい」と語っていました。『ジェットコースターに乗りたい』とも話していましたね」(スポーツ紙記者)

その言葉通り、昼過ぎに大坂が向かったのはデイスニールランド。専属運転手付きの車に乗り込んだ彼女は、エントランス付近の車寄せへと入っていった。

ところで、大坂は「東レ」の大会決勝で敗れた後、「ウイルス性疾患」を理由に中国・武漢オープン(9月23～29日)の欠場を表明していたはず。楽しそうにハシヤケこの日の様子を見る限り、元気いっばいのようなのだが……。

「ウイルス性疾患」は、軽度の風邪を含め、ウイルスが原因のあらゆる病気に使われる病名です。大坂さんは身体的にも精神的にも疲労が溜まっており、すぐにも休養が必要だったはず。でも「疲れたので欠場します」とは言えませんが、担当医が気を利かせたのでしょうか」(長尾クリニック院長・長尾和宏医師)

全米オープン優勝以後、新女王として目まぐるしい日々を送っている彼女。束の間のオフで、元気を取り戻したようだ。

9月19日、大坂は立川で行われた大会の初戦でストレート勝ちを取めた。決勝では簡単なミスが目立ち、残念ながら準優勝に終わる

